

〈研究テーマ〉

「生涯を通して歯と口の健康を守るための行動を自ら実践することのできる児童の育成」

〈研究の重点と具体的な取組の内容〉

重点1 発達段階に応じた歯科保健指導の実施（学校・家庭）

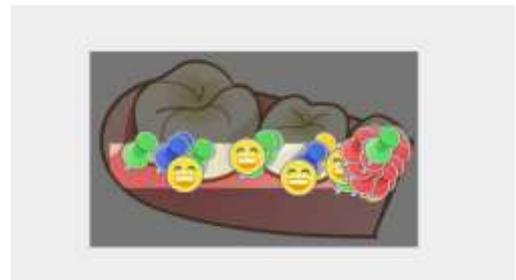
(1) 学校における保健指導

小学生は生えかわりの時期であるため、学年によって口腔内の状況が異なる。学年ごとに課題を設定し、永久歯の大切さに気づかせるとともに、実際に歯をみがきながら正しい歯みがきについて指導した。

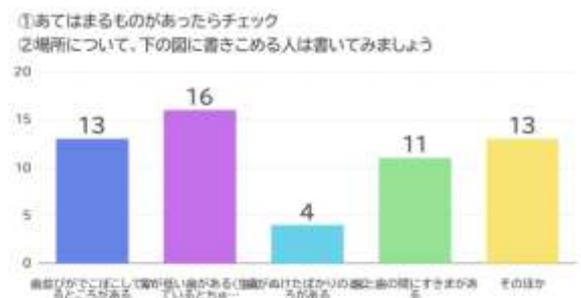
学年	テーマ
1年生	はじめての大人の歯「6歳臼歯」を上手に磨こう
2年生	生え始めた大人の歯をむし歯から守ろう
3年生	歯みがき名人になろう
4年生	歯科衛生士さんのお話（むし歯の予防・歯肉炎）
5年生	全国小学生歯みがき大会・学校歯科医さんのお話
6年生	自分の歯並びに合ったみがき方を身につけよう

また、オクリンクプラスを活用し、児童の意見をリアルタイムで全体に共有し、全員の意見を活かしながら課題解決に向けて考えた。

オクリンクの活用方法例



3年生は歯垢がたまりやすいところを予想し、画像にピンを立てさせた。範囲指定をしてピンを表示すると、同じ意見の児童が誰で、何人程度いるかがすぐに分かり、授業を深めるのに役立った。



6年生は自分の歯並びを鏡で観察し、気づいたことをカードに書き込ませた。予想される意見をあらかじめ選択肢として出しておき、その場で集計を行うことで、クラス全体としての傾向もつかむことができた。



5年生は学校歯科医を招き、「全国小学生歯みがき大会」に参加した。学校歯科医からさらに専門的な知識を教えてもらい、効果的な歯みがき方法について学んだ。質問コーナーでは多くの手が挙がり、歯と口の健康に対する意識が高まった様子であった。

## (2) 家庭との連携

- 授業前にほけんだよりを配付  
事前に実施したアンケート結果や、授業の内容、授業後の取組のお願いについて記載した。
- 授業後の「歯みがき週間」の実施  
授業で学んだことを活かしながら一週間自宅で丁寧な歯みがきを行った。
- 冬休みに染め出しの実施  
冬休みの宿題として歯の染め出しを実施し、みがき残しについて親子で考える機会とした。

## 重点2 児童会と連携した啓発活動の充実

### (1) いい歯大好き学校審査会の標語募集

全校に呼びかけ、標語を募集した。

### (2) スライド作成・発表

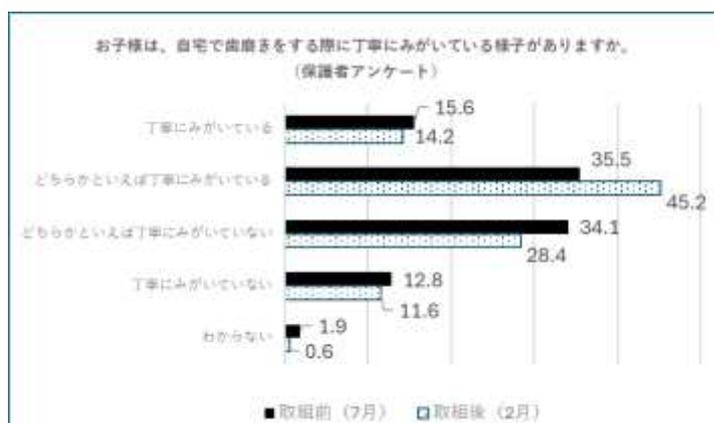
歯と口の大切さが全校に伝わるよう、保健委員会の児童がストーリーを考案し、スライドで紙芝居を作り、冬休み前に全校に発表した。



## 〈成果と課題〉

### 成果

- 7月（取組前）と2月（取組後）に実施した保護者アンケートより、「自宅で丁寧にみがいている様子があるか」という質問で、肯定的回答が取組前（7月）と比較して8.3%上昇した。
- ICTを活用することで、児童の意見をリアルタイムで全体に共有することができ、全員の意見を活かしながら課題解決に向けて考えることができた。
- 染め出しや歯みがき週間など、家庭で行う取組を実施したことで、保護者と連携しながら丁寧な歯みがきの大切さについて考えさせることができた。



### 課題

- 自分から進んでみがくことのできる児童がまだ少なく、取組後にも増加が見られなかった。  
→歯みがきの大切さが伝わる指導を今後も継続していく。
- 歯科検診後のむし歯治療率が低い。(53.3%)  
→引き続き長期休業前に治療勧告を渡すとともに、早めの治療を保健便り等で呼びかける。